

## 現地発着ツアーアンケート

お名前：KAZU

ご職業：(大学教員)

年齢：50～59歳

現地発着ツアー参加歴：9回目

Q1：今回あなたが参加した現地発着ツアー

会社名：INTREPID

ツアー名：North Morocco Adventure

開始日：2014年8月29日(金)～9月6日(土) 9日間

発着地名：カサブランカ発 マラケシュ着

Q2：参加者 5ヶ国から12名 (男性5名・女性7名)

出身国名&年齢&職業

出身国は、アメリカ、オーストラリア、ブラジル、エチオピア、日本。夫婦2組、恋人関係2組、親子1組、一人旅2。年代は20代から60代まで幅広く、職業も海外協力隊、保険会社、大学教授、ビデオプログラマー、学生…と様々でした。

Q3：成田／関西など国際空港でのチェックイン～出国～現地入国審査～税関等

<行き>エミレーツ航空利用。名古屋駅から関西空港まで送迎バス(要予約)。関西空港からドバイ乗り換えで、カサブランカムハンマド5世空港へ。エミレーツ航空はリーズナブルな料金ですが、合計飛行時間が約20時間となるため、体力的にはハードです。入国審査はスムーズです。カサブランカの空港からは電車(ONCF)でカサボヤジャー駅まで(2等で40DH。1DH=13円)約40分。カサボヤジャー駅前からはトラム(7DH。約10分)に乗り、モハメド・ディウリ駅下車。徒歩で集合ホテル(Hotel Maamoura)へ。

\*トラムの乗り方や道順は係の人に質問するとよいでしょう。片言の英語でも通じます。

<帰り>マラケシュを早朝4:45発の電車(2等で90DH)だったため、ホテルを3時半に発。前夜、フロントにタクシーを予約。タクシー代は通常20DHほどと思いますが、深夜料金ということもあり50DH。それでも、ホテルの予約によるタクシーだったため、とても丁寧な運転で、しかもきれいなタクシーでした。マラケシュから約3時間でカサボヤジャー駅へ。モロッコの電車は次にどこに止まるかとてもわかりにくいので、しっかりとアナウンスに耳を澄ますか、乗務員に尋ねるとよい



でしょう。乗務員は荷物から目を離すな、等、乗客に注意してくれます（盗難が多いから）。また、早朝の電車はかなり寒いので防寒対策が必要です。カサボヤジャー駅からは空港へ（2等で40DH）。私たちは一度改札を出て切符を買いましたが、ホームからそのまま空港線に乗った外国人がいたようでした（車内で追加料金を払ったか？）。カサボヤジャーからは乗る人が多く、大きなスーツケースだと大変かと思います（私たちはそれで結構苦労しました）。エミレーツ航空のチェックインは約3時間前から。窓口近くに行き、待つことをお勧めします。日本のようにきちんと並ぶ列が分けられないため、遅く行くと大混雑に巻き込まれます。入国カードは機内で配付されましたが、帰国の際には、空港内にあるデスクで同様の出国カードを書く必要があります。これを書かず、パスポートコントロールで大慌てしている人がかなりいましたので注意。



Q 4 : 現地空港から、指定ホテルまでのアクセス（交通手段、所要時間、料金）等  
上記にまとめました。

探検隊の担当の方に事前にいろいろ教えていただき、大変助かりました。

Q 5 : ツアー前後の指定ホテルについて（施設の印象など）

ツアー終了後、同じマラケシュのホテル（Hotel Le Caspian）を予約してもらいました。このホテルはかなりきれいでお勧め（三つ星）です。ツアー自体、マラケシュでの1日ありますが、フナ広場を回るのは日中。そのため、有名な大道芸や屋台などを見ることができません。それらを見るには、もう一泊マラケシュに泊まり、夜のフナ広場を見て回ることを強くお勧めします。私たちにとっては夜のフナ広場の光景は最高の思い出となりました。



Q 6 : お勧めスポット（レストラン）等

マラケシュのフナ広場に、「Snack Toubkal」というオープンカフェのレストランがあります。ここは値段も安く、タジン鍋、モロッコスープ等が絶品です。また、同じく広場にある「Grand Balcon Cafe Glancier」は展望のカフェ。ここからのフナ広場全景は圧巻です。なかなか広場側の席は空きませんが、諦めずに待っていたら座ることができました。一人20DHの飲み物代だけで利用できますのでお勧め。



Q 7 : ツアー中の宿泊場所について／設備・場所・環境など気のついたこと

どこのホテルもトイレ、バス等使い勝手がよかったです。丸い差し込みタイプの返

還プラグ、変圧器を持参すれば、充電も問題ありません。ムーレイ・イドリス、シャウエンの「リヤド」はどちらもとても素晴らしいホテル。これから参加される方、どうぞお楽しみに！



Q 8 : ツアー中の食事について

ツアー中、ホテルの朝食は6食がツアー料金に含まれています。オレンジジュース、パン、珈琲等の軽食がほとんどです。昼食は1食のみ料金に含まれています。フェズのスーク内の狭い小部屋で焼きたての肉のバーガー。これはおいしかった！ その他の地区では様々にレストラン等を使用しましたが、タジン鍋、モロッコスープ、モロッコサラダ、クスクス等、メンバーは様々に楽しんでいました。夜もほぼ同様ですが、フェズに宿泊の際、伝統料理をメンバー全員で食べに行きました。その最後に出てきたのが「パスティラ」。炒めた肉や野菜をパイ皮に包んだ料理ですが、結構甘いです（私の口にはあまり合わず・・・）。レストラン等で食事をする、パンがつかます。私はモロッコスープ（ハリラ）が一番好きでした。このハリラとパンで十分、おいしかったです。



Q 9 : フリータイムについて

メンバー全員と動くことが多かったです。シャウエンでの1日、タンジェンで半日はフリーでしたが、希望すればもう少しフリーに動くことは可能かと思えます（私たちはメンバーと一緒に動くことが安心で、かつ楽しかったですが・・・）。

Q 10 : どんなオプション・アクティビティに参加しましたか？

マラケシュでの3時間メディナ（旧市街）散策；405DH。フェズでたっぷりメディナを見て回ったからでしょうか、マラケシュの散策はそれほど感動がありませんでした。今回はメンバー全員がこのオプションを選びましたが、他にもいくつかのオプションが設定されていたので、他を検討するのもよいかもしれません。

Q 11 : ツアーリーダーの名前：(Mr. ラシッド)

優しい30代のリーダーです。日本人で英語が苦手だからといって、特に配慮をしてもらったということはありませんが、尋ねれば丁寧にいろいろ教えてくれました。

Q 12 : ツアー中の出費

日本円にして約4万。食事、オプションアクティビティ（405DH）、土産（タジン鍋等）、様々な場所でのチップ、リーダーへのお礼（250DH）、運転手へのお礼等をすべて含めて、約4万円以内で収まりました。

### Q13：これから参加する方へのアドバイス（持ち物等）

- ・モロッコの DH に変換するのは空港に到着してから。それまでドバイ等での乗り継ぎの際に使用することを考えると、ユーロをいくらか日本から換金しておくともよいかもしれません。日本円を換金することは宿泊ホテルではできませんでした。市内の両替所では可能。私は使用しませんでした。メンバーは各地の ATM を利用していました。海外で使用できるクレジットカード等を持参すると安心でしょう。
- ・朝夕冷えることや電車等で冷房が効きすぎることがあるので、防寒対策を万全にするとよいでしょう。
- ・少しですがお腹の調子が悪くなった時があります。その時に「正露丸」が効きました。
- ・青汁、梅干しを持って行って、とてもよかったです。
- ・スポーツ飲料粉末もあるとよいです。
- ・トイレットペーパーは設定されていないトイレが多いです（市内等）。
- ・帽子、日焼け止め、サングラスは必需品です。
- ・石畳の道など歩くためにやや底の厚い靴も持参するとよいでしょう。
- ・ホテルにシャンプーがないところもありますので持参すると安心です。
- ・予想以上に各地を長い時間かけて歩きます（初日は足に湿布をしたほど）。少し体力作りをしてからツアーに臨むとよいでしょう。
- ・ガイドブック「地球の歩き方」、姉妹本「aruco」がかなり参考になりました。これを事前に読み、ツアー中もちょうくちよく読むようにするとよいです。
- ・連泊することが多くあったため、薄手の下着や紐等を用意すると、自分で洗濯でき、部屋干しできます（ホテルによってはクリーニングサービスもあります）。
- ・電車、バスでの移動が多くあるため、スーツケースでは少し大変でした（階段を持ち上げて運ぶなど）。メンバーの多くは大きなリュックでの参加でした。

### Q14：Active 通信（感動のエピソード等）

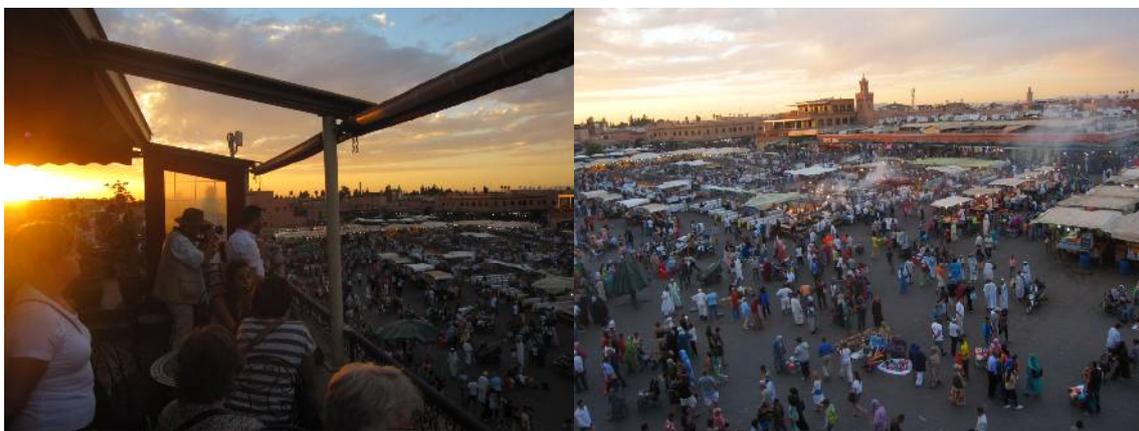
#### <その1；幸せそうな背中～シャウエン>

青と白の色で埋め尽くされたメルヘンの街、シャウエン。小さな子どもがどの土地にも多いなあと感じました。そして、周りの大人が子どもをたっぷりと愛している…そんな平和で幸せな空気もたっぷり感じました。写真（左）の子どもは兄弟でしょうか、見ているこちらが幸せになりました。



### <その2；溢れる・みなぎる力～マラケシュ>

モロッコの代名詞とも言えるマラケシュのフナ広場。夕方になると、日中とはうって変わった「力」が溢れ、みなぎるような感じが、広場一帯に広がっていくようでした。へびつかい、太鼓の踊り、猿回し等の大道芸人、数え切れないほどの屋台、地元の人々、観光客でいっぱい！ マラケシュの夜…これは必ず体験すべきひととき。



### <その3；圧巻の遺産～ヴォルピリス>

ムーレイ・イドリスからタクシーで10分。ローマ時代がそこに現れたかのような、素晴らしい保存状態を誇る遺跡が、世界遺産「ヴォルピリス遺跡」。「オルフェウスの家」他、多数のモザイク画がきれいに残されているのも素晴らしいです。時間が一気に何千年もさかのぼっていく…そんな気がしました。



### <その4；聖者の街：ムーレイ・イドリス>

山肌に造られた都市ムーレイ・イドリスは、そのたたずまいそのものが神秘的…。メクネスの街からタクシーで45分走ってようやくたどり着いたその街は、この多国籍ツアーでなければきっと訪れることができなかったと思います。夕日に包まれる街全体の光景が美しく、時間が過ぎるのを忘れました。



<その5；多国籍ツアー万歳！>

多国籍ツアーへの参加も早9回目。どこに行っても素晴らしいメンバーとの出会いがあります。今回も、皆が優しく、「いい人」たち……。多国籍ツアー、「万歳！」です。

